第２回　町田第三・山崎地区新たな学校づくり基本計画検討会　議事要旨

開催日時		2026年9月28日（月）　１４：３０～１６：３９
開催場所		山崎中学校　被服室（ウェブ会議併用）
出席者 (敬称略)	委員	小林委員、関口委員（日髙委員代理）、田代委員、吉松委員、小泉委員、 佐藤委員、遠藤委員、川崎委員、浦﨑委員、上野委員、牧野委員、 ◎鈴木委員、〇小平委員（◎会長、〇副会長）
	事務局	新たな学校づくり推進課、施設課
傍聴者		１名

議事内容（敬称略）

１　第１回基本計画検討会の振り返りについて

新たな学校推進課　（資料１説明）

２　新たな学校づくり意見募集結果及び検討の進め方について

新たな学校推進課　（資料２-１～２-３説明）

３　通学について

新たな学校推進課　（資料３説明）

委員　　通学推奨ルートは校長先生が決定するとのことであるが、公表後に地域の方の視点から指摘があった場合、ルートが変更される可能性はあるか。

新たな学校推進課　自転車通学のルート検討の流れとしては、今後設置する協議会の中で、保護者や地域の方と一緒に具体的な検討を行う。

次に、この協議会での検討を踏まえ作成したルート案を、例えば自治会・町内会や青少年健全育成地区委員会の定例会等の集まり等の場で示し、地域の方々等からさらにご意見いただきながら、必要に応じて修正等を行う想定である。

それらを踏まえ、最終的に両校の校長先生によって推奨ルートを決定する予定である。

４　新たな中学校の標準服等について

新たな学校推進課　（資料４説明）

５　生徒配慮について

新たな学校推進課　（資料５説明）

６　歴史の継承について

新たな学校推進課　（資料６説明）

７　新たな中学校の教育目標について
新たな学校推進課　（資料7-1、7-2説明）

８　ワークショップ（次第３～次第６）
新たな学校推進課　（資料８説明）

〔　ワークショップ　〕

９　新たな中学校の施設整備について
委託業者　　（資料9-1、9-2説明）

〔　ワークショップ　〕

Aグループ発表　　A案について、横に長いこともあって動線がいいところ、全ての教室が南に向いているので日当たりがよいところ、まっすぐな形で使いやすいところの３つについて、いい点であると意見があった。

気になるところは、校舎が道路との間に立つことで学校の様子が分かりにくいのではないか。また、校舎が土砂災害警戒区域にかからないのはいいところである一方、校庭が土砂災害警戒区域に該当することが心配であるという意見があった。

B案は、体育館が奥にあると外部からのメンテナンスや交流が難しく、また土砂災害警戒区域に近いことも心配であるとの意見が挙がった。

C案は、体育館が道路側にあるのがいいところである。気になる点としては駐車場の位置がグラウンドと近いところが挙げられている。また、管理棟や避難所となる体育館が土砂災害警戒区域にあたるということで土砂崩れ等に関する懸念も挙げられた。

D案は、道路から教室が離れているので音の軽減につながるのではないかという意見や、車の入口と人の入口が離れている点に関してはいいところとして意見が挙がった。しかし、校庭の形状がサッカーや野球に適さず、他案と比較すると気になるという意見が多かった。

すべての案に共通する意見として、特別支援学級のエリアについて、外に出てしまうことがないか懸念があるとの意見もあった。また、南向きだと紫外線が気になるため、教室の向きについても多くの意見があった。加えて、吹き抜けは不要ではないかとの意見も出ていた。

Bグループ発表　　A案は、校舎が道路に面して一直線であるため活用しやすいと意見が上がった。特別支援学級の出入口の配慮などの工夫がしやすく、体育館も校門に近いため、地域の方や土日の部活動に参加する生徒なども行きやすい点がいいところ。

気になる点は、道路の向かい側に消防署があるため、そのサイレンがどこまで影響してくるかが不安という意見が出た。

Ｂ案は、吹き抜けがある独特な校舎の形がおしゃれであり、光がたくさん入ることで明るい学校になりそうな点がいいところ。

気になる点としては、体育館のすぐ近くに土砂災害警戒区域があるので、その点が不安な点として挙がった。また、Ｂ、Ｃ、Ｄ共通してプール利用バス駐車場からプールまで移動の距離が長く、新設中学校のプール授業で利用する他校の方が不便ではないかとの意見が出た。

Ｃ案は、体育館が道路側にあるため、他校の方が部活などで来たときに校舎に入らず済むのは安心できる点。また、基本的に校舎に入るために校庭を通過する必要があり、不審者に気づきやすいという防犯面のメリットがある。

デメリットは、土砂災害警戒区域のすぐ近くに校舎がある点と、プール利用バス駐車場から体育館までが遠い点。地域開放の方も校舎まで行くのに距離があるため、そこが難点という意見が出た。

Ｄ案は、体育館や校舎が密集しており、生徒の移動が楽であり、きぼうの森が近いことで授業中の癒しになるかもしれないというメリットがある。

デメリットは、校庭の形状から、サッカー部がグラウンドを取れないこと、陸上部のトラックが走りにくい等、活用の仕方が難しいという意見が出た。

次回開催予定　第3回基本計画検討会

2026年11月10日（火曜日）14時30分　町田第三中学校